

一人一人がルールとマナーを守って



平成28年に、市内で発生した交通事故の件数は494件。死者数は4人、負傷者数は615人でした。近年は減少傾向にあるものの、依然として交通事故により尊い命が失われています。一人一人が交通マナーとルールを守り、交通事故を防止しましょう。

自転車専用レーンが設けられたJR成田駅西口

自動車の事故防止

自動車事故の原因で多いのは、スピードの出し過ぎです。通り慣れた道でも、スピードが出ていると、歩行者が飛び出してきたときに対応するのが難しくなります。少しの油断が大きな事故につながりかねません。夕暮れ時や、学校の登下校の時間帯は特に注意しましょう。

交差点では、安全な速度と方法で進入・通過するよう心掛けましょう。また、横断歩道などに接近する場合は、停止線の直前で停止できるような速度で進行しましょう（進路の前方を横断しようとする歩行者などがいないことが明らかかな場合を除く）。

冬場の運転は

路面凍結に気を付けて

冬は路面の凍結や積雪によるスリップ事故が多発します。特に、

気温が低い夜間や早朝に、橋の上や坂道、交差点、カーブ、トンネルの出入口付近で運転するときは注意が必要です。凍結した路面での急加速、急ブレーキ、急ハンド

ルなどはスリップの原因となるのでやめましょう。また、夜間の水まきは凍結の原因になるので、絶対にしないでください。

自転車の事故防止

平成29年4月、道路交通法の順守や、自転車利用者が保険加入に努めることなどを定めた「千葉県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」が施行されました。

自転車は、子どもから高齢者まで、誰もが利用できる一方、交通ルールやマナーを守らないで運転すると、大きな事故につながる恐れがあります。平成29年12月には、神奈川県でスマートフォンを操作しながら電動アシスト自転車を運

転していた人と歩行者との死亡事故も起こりました。次のことに気を付け、安全走行を心掛けましょう。

- 歩道・車道の区別のある道路では、原則として車道を通行する。例外として、自転車が歩道を通行できる場合もあるが、そのときも歩行者が優先
- 急な進路変更をしない
- 交差点では徐行や一時停止をする
- 運転中に傘や携帯電話、ヘッドホンなどを使用しない
- 夜間はライトや反射材を取り付ける
- 高齢者や高校生以下の人はヘルメット着用を努める

電動アシスト自転車の 注意点

最近では、子育て世代を中心に、電動アシスト自転車に乗る人が増えています。電動モーターが搭載されていて、ペダルをこぐ力を補



事故につながる危険な乗り方はやめましょう

助する電動アシスト自転車は、上り坂を走行するときや、重い荷物を載せるときなどに便利です。しかし、普通の自転車よりも重く、バランスを崩しやすいため、走行には注意が必要です。

特性を理解した上で、次のことを守り、安全な利用を心掛けましょう。

- 電動アシストのスイッチを入れる際は両足を地面に付ける
- 自転車に乗る際に、片足でペダルをこぎながらもう片方の足で地面を蹴って乗るといった、急発進につながる乗り方をしない
- 余裕を持ってブレーキを掛ける
- 6歳未満の子ども2人をチャイルドシートに乗せる場合は、初めに後ろに乗せてから前に乗せる。降ろす場合は、前の子ども

高齢ドライバーの皆さんへ

高齢者による交通事故の割合は年々増加しています。

自動車は、公共交通機関が発達していない地域に住む高齢者にとっては、生活を営む、余暇を楽しむ上で必要不可欠な交通手段といえます。しかし、人は年齢を重ねるほど、複数のことに同時に注意を払うのが難しくなり、意識と行動のずれが生じやすくなるといわれ、運転中に交通事故を起こす危険性が高くなるといえます。

体調不良時や悪天候時には運転を避ける、通り慣れた道でも油断しない、定期的に運転適性検査を受けることなどが事故の回避につながります。

運転免許証の自主返納

千葉県警察では、高齢運転者に運転免許証の自主的な返納を呼び掛けています。自主返納すると、バスやタクシーといった公共交通機関の運賃割引などの特典を受けることができます。市内でも、千葉交通と成田空港交通のバス乗車運賃が半額に、タクシーの乗車運賃が1割引になります。

自分の運転に不安を感じたとき、家族から事故が心配と言われたときなどには、運転免許証の自主的な返納を検討してください。

※くわしくは成田警察署(☎27-0110)へ。

オンデマンド交通

市では、市内全域で「オンデマンド交通高齢者移送サービス」の実証実験を行っています。利用者の乗降時間や乗降場所の要望(デマンド)に応じる乗り合い型交通機関による移送サービスで、時刻表も決まった路線ありません。市内全域の800カ所以上ある乗降場所と市内の病院やスーパー、市役所などを結びます。

サービスを初めて利用する場合には、事前に利用者登録が必要です。オンデマンド交通専用ダイヤル、高齢者福祉課(市役所議会議棟1階)、下総・大栄支所のいずれかで登録してください。

運行日時＝月～金曜日(祝日・年末年始を除く) 午前7時30分～午後5時30分

対象＝市内在住の70歳以上で、自動車の乗り降りが自力でできる人
料金(1人1回当たり)＝500円

予約方法＝月～金曜日(祝日・年末年始を除く)の午前8時～午後5時に、オンデマンド交通専用ダイヤル(☎24-0080)へ。利用する日の7日前から乗車を希望する30分前までに予約してください

※くわしくは高齢者福祉課(☎20-1537)へ。

緑道の自転車走行

ニュータウン内などに設けられている緑道は、自動車の通行ができません。

降ろしてから後ろの子どもを電動アシスト自転車に限らず、子ども2人を自転車に同乗させるには、基準に適合した車体でなければいけません。事前に販売店などで確認してください。

加入していますか 自転車賠償責任保険

自転車の交通事故では、歩行者などにけがを負わせてしまい、高額な賠償金を支払わなくてはならない場合があります。この賠償金

きない、歩行者と自転車のための専用道路です。自転車の運転者は、マナーを守り、歩行者の安全に配慮した走行を心掛けましょう。

は、未成年でも免れることはできません。

万が一の事故の際、相手側や自身、家族を守ることにつながる自転車賠償責任保険の加入を検討してください。

歩行者の事故防止

近所だから、慣れた道だからと油断せず、交差点や道路の横断時

は信号や横断歩道を利用する、安全確認を徹底し無理に渡ろうとしないなどを心掛けましょう。

また、夕暮れから夜間にかけて散歩やジョギングなどで外出する場合は、懐中電灯や、反射材の付いたテープ・たすき・キーホルダーなどを身に着けるといった安全対策をしましょう。

※くわしくは交通防犯課(☎20-1527)へ。